



【学校教育目標】 人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.5

令和4年7月20日

京都市立東山泉小中学校

校長 岩田 智典



合唱コンクール

7月7日(木) 2nd ステージの合唱コンクールを大谷中学校高等学校の樹心閣(講堂)をお貸しいただき開催しました。今年度は、「7・8年生の部」「6・9年生の部」の2つの部に分けて行い、また6・9年生の発表には1st ステージの5年生を招待し、9年生の最後の合唱を1st ステージのリーダーである5年生に届けることができました。クラス合唱は、歌う楽しさはもちろん、人と人との絆をつくる機会でもあります。7年生がクラス合唱を通して友だちへの「感謝」を述べている作文がありましたので紹介させていただきます。

「最初は全然声も出ていなかったけど、パートリーダーの『みんなのために』という言葉で、『恥ずかしくて声を出さないのは、クラスのためにならない。』と考え直し頑張りました。終わった後、今までの努力を出し切って全員でやり抜いたことが良かったと思いました。いつも全力で失敗しないために練習をしてくれていた指揮者、伴奏者。全員が声を出すように導いてくれていたパートリーダー。この人たちに感謝したいです。」

この7年生は、クラス合唱から「友だちへの感謝」を学んでいます。そして「クラスのために、自分に出来ることは何か」を考えています。2nd ステージの目指す児童生徒像は「人を慮りながら理想の実現を追求し続ける児童生徒」です。合唱コンクールで多くのことを学んでくれた児童生徒たち。2学期からさらに友だちとの絆を深めて欲しいと思います。



※学校だよりの前半は2nd ステージの児童生徒の感想を載せることになってしまいましたが、後半は1st ステージの児童の感想も随時紹介させていただく予定です。



夏休みに向けて…



いよいよ夏休みが始まります。終業式では子どもたちに「挑戦(チャレンジ)」という言葉伝えました。夏休みは様々な経験ができるチャンスです。自由研究、読書、家族との思い出、部活動、勉強などなど。この夏休みの機会にぜひ、さまざまなことに取り組んで欲しいと思います。しかし、絶対にしてはならない「挑戦」があります。それは、自分の命や身体の危険に関わることです。例えば「水の危険」「自然の危険」「熱中症の危険」「犯罪の危険」などです。この「危険」については学校からも話させていただきましたが、ご家庭においても子どもたちに注意のほど何卒、よろしくお願いいたします。また、夏休みは地域に子どもたちをお返しする時期でもあります。コロナ禍で制限はございますが、子どもたちの健全育成にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

五山の送り火 鑑賞の夕べ

コロナ禍の影響で、2年間中止となっていた「五山の送り火 鑑賞の夕べ」が、今年度復活いたします。

この企画は、大谷中学校高等学校と東山泉小中学校の共同企画で、開校以来開催されてきました。大谷中学校高等学校の皆様が屋上を開放してくださり、京都のお盆の行事である「五山の送り火」を、東山泉学区の皆様にご鑑賞していただくという行事です。消毒・検温・密を避けるなどの感染症対策を行っての開催となります。皆様、ぜひお越しください。



夏季休業中について

夏季休業中に、学校への電話連絡が必要な場合は、平日の8時30分から17時までの間にお願いします。

なお、8月8日(月)から8月16日(火)までは、学校閉鎖日とさせていただきます。

2学期開始当初について

始業式 8月24日(水)【午前中授業・給食なし】

*登校時刻…両学舎とも通常通り

*下校時刻

西学舎 12:00頃

東学舎 部活動がない児童生徒 12:00頃

部活動完全下校 15:00